

# 一 般 質 問 要 綱

平成 24 年第 6 回 6 月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	7	渡 部 信 夫	1 教育旅行・修学旅行について	<p>(1) 喜多方市を訪れる教育旅行・修学旅行について</p> <p>ア 動向について伺います。</p> <p>イ 誘客促進の取り組みと成果について伺います。</p> <p>ウ 誘客のための補助制度創設について伺います。</p> <p>(2) 市内小・中学校の修学旅行について</p> <p>ア 小学校の修学旅行について</p> <p>(ア) 方面について伺います。</p> <p>(イ) 見学箇所について伺います。</p> <p>イ 中学校の修学旅行について</p> <p>(ア) 方面と費用について伺います。</p> <p>(イ) 見学箇所について伺います。</p>
			2 放射能対策について	<p>(1) 山林の放射能対策について</p> <p>ア 山菜類の出荷制限について伺います。</p> <p>イ 山菜類の放射性物質検査について伺います。</p> <p>ウ 山林の放射能汚染について伺います。</p> <p>エ 山林の線量調査体制について伺います。</p> <p>オ 山林の除染対策について伺います。</p> <p>カ 山林汚染の損害賠償について伺います。</p> <p>(2) 米の放射能対策について</p> <p>ア 土壌調査について伺います。</p> <p>イ 施肥対策について伺います。</p> <p>ウ 検査体制について伺います。</p>
2	15	渡 部 孝 雄	1 新市建設計画における「新市建設計画に基づき重点的に推進する事業」及び「財政計画」の現状と今後の進め方について	<p>(1) 新市建設計画資料の事業実施年度との比較において、また規模と実施年度が未定の事業の内容から推測し計画期間 10 年、27 年度末を持って完了することは極めて難しいと思われる。</p> <p>当局の進捗状況に対する評価は如何か、また、その根拠とするところは何か。</p> <p>(2) 3 月定例会に私が示した事業費ベースの「新市建設計画着手率」を見れば極めて地域不均衡な執行状況であると考えられる。</p> <p>当局の地域バランスという視点での現状評価は如何か、また、その根拠とするところは何か。</p> <p>(3) これまでの答弁では「個別事業の規模や</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>実施時期については総合計画や予算編成において検討する。財政見通しとともに事業の緊急性、重要性、有効性を見極め、旧市町村間のバランスにも配慮しながら中期財政計画に位置づけて進めてきた」とのことであるが、具体的にはどの部署が、どのような手順で進めてきたのか。</p> <p>(4) 個別事業で未定である塩川駅自由通路の整備事業では平成 22 年実施設計、24 年完成と平成 20 年及び 21 年の中期財政計画には載っている。22 年になると 23 年に調査をするとなり、23 年には 25 年度に現況測量、予備設計費が計上されている。極めて異例な見直しがされている。その理由、判断基準及び、どのような手続きを踏んでいるのかを示せ。</p> <p>(5) 財政計画の実績と今後の見込みに対する評価は如何か。</p> <p>また普通建設事業費は規模においてあるいは地域バランスにおいて財政計画推計の根拠となった水準にあるか。</p>
			2 放射能被害対策について	<p>(1) 市は、4 月、5 月の検査結果では 0.23 マイクロシーベルト以上の地点があったにもかかわらず法に基づく汚染状況重点調査地域指定を受けなかった。これは、風評を恐れて住民の不安、面的な詳細検査と市による除染を求める住民の要請に応えていないと言える。当局の見解を求める。</p> <p>(2) 市は、国県の補助事業を仲介するだけに止まることなく、放射線量低減化のために自主的な施策を講じるよう求める。見解を伺う。</p>
3	1 1	長 澤 勝 幸	1 安全・安心なまちづくりについて	<p>(1) 放射能対策の現状について</p> <p>ア 学校での対応状況について</p> <p>イ シイタケ栽培の現状について</p> <p>(2) 除染計画について</p> <p>ア 地域での対応をどう進めるのか。</p> <p>イ 湯川村での対策の検証について</p> <p>(3) 自主防災組織について</p>
			2 小水力発電の取り組みについて	<p>(1) 市民からの情報提供について</p> <p>(2) 推進のための条件整備について</p>
4	2 3	佐 原 正 秀	1 介護保険事業計画改正に伴う対応について	<p>(1) 地域包括ケアの基盤強化対策の考えは</p> <p>(2) 医療と介護の役割分担・連携強化をどう進めるか。</p> <p>(3) 認知症にふさわしいサービスの提供は</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>どうするか。</p> <p>ツイッターの次はフェイスとまた新しい道具ができたとうんざりする方も多いと思いますが、しかし、フェイスブックをはじめとする新しいウェブの道具は、人々のコミュニケーションのあり方を変え、我々の人生を変えうるポテンシャルを有しているようであります。</p> <p>しかしながら、行政としてどこまで私的利用を制限できるのかが、今後の課題であり、それらの取り組みも早急に対応し、何らかの制限やガイドラインを設け、大いに利用促進を図るべきと考えるがどうかお伺いをいたします。</p>
			2 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の管理体制について	
			3 防災教育にどのように取り組むかについて	<p>災害時には人は少なからずパニックになりますが、その際に被害の多少や生死を分けるのは、どれだけ正確な知識を持ちきちんと行動ができるかであります。</p> <p>今、教育現場での防災教育に対する取り組みが、大きく求められており、自分の身は自分で守ることができる対策が必要であります。各学校において、社会や生活の変化にも対応した、現代必要とされる各種災害への予備知識を備えた、防災士などの育成を進めていくことが大事であると思うが、このことについてどのように考えるのかお伺いをいたします。</p>
5	16	佐 藤 一 栄	1 県立喜多方病院の廃止に伴う跡地の利用について	<p>県立喜多方病院と県立会津総合病院が統合して、会津医療センターが建設されております。工事が震災のため遅れているようですが、平成 25 年 5 月の開業を予定しているそうです。県立喜多方病院の廃止に伴う跡地の利用について市はどのように考えているのか伺います。</p> <p>(1) 現在地の総面積はいくらになりますか。</p> <p>(2) さらに地にした場合、隣接地を参考にしたおおむねどの位の価値がありますか。</p> <p>(3) 県としては代替地とか何か独自での利用計画はありますか。</p> <p>(4) 喜多方市としては、どのような利用計画がありますか。</p>
			2 喜多方市と東京・東大和市との友好都市協定に係る今後の事業について	<p>平成 24 年 4 月 27 日喜多方市と東京・東大和市は友好都市協定を締結いたしました。災害時には相互に援助することや観光交流を推進して行くことを目的にしたいと思います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>が、具体的にどのような交流事業を進めて行くのか伺います。</p> <p>(1) 喜多方市旧山都町では長年どのような交流がなされてきたのか伺います。</p> <p>(2) 物的交流はなされてきたのか伺います。</p> <p>(3) 今後、喜多方市へ迎えての交流としてはどのようなことを考えているのか伺います。</p> <p>(4) 東大和市へ出向いての交流研修はどのようなことがありますか伺います。</p> <p>(5) その他イベント等の交流はどのようなことが考えられますか伺います。</p>
			3 荻野漕艇場における今後の大会運営について	<p>荻野漕艇場における全国マスターズレガッタの大会は震災のために延期になった訳ですが、7月の水害で護岸が大きな被害を受け、未だ復旧がなされておりません。今後、荻野漕艇場における大会の運営について伺います。</p> <p>(1) 荻野漕艇場の護岸工事の進捗状況は。又、復旧の見通しはどのような状況ですか伺います。</p> <p>(2) 喜多方市のレガッタ大会の取り組みはどのようになりますか。</p> <p>(3) 各種大会の取り組みはどのようになりますか伺います。</p> <p>(4) 平成 23 年度開催予定でありました全国マスターズレガッタの今後の取り組みについて伺います。</p>
6	4	後 藤 誠 司	1 保育所運営について	<p>(1) 昨年、県の児童福祉施設監査において、本市の保育所施設長が資格要件を満たしていないという指摘を受けたと聞くが、現在解消されているのかどうか伺う。</p> <p>(2) 保育所長は何ヵ所かを兼務しているわけですので、なかなか全施設をくまなくこなすのも大変かと思います。1 施設 4 時間程度の事務職を付けるというわけにはいかないのか伺う。</p> <p>(3) 臨時保育士の欠員も出ているようで、ハローワークに求人を出してもなかなか集まらず、職員が知人に連絡をして探しているやに聞くが、これは市が責任を持って探すべきと思うがいかがか伺う。</p> <p>(4) 臨時保育士が集まらないのは、3 年間の雇い止めということがあるからなのではないか。専門職的臨時職員の任用は 3 年</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				間にこだわらなくても良いと思うがいかがか伺う。 (5) 幼保一体化検討の進み具合はいかがか。 何年度の実現を目途に進めているのか伺う。
			2 災害復旧工事について	昨年 7 月の新潟・福島豪雨災害から 10 ヶ月が経過をしましたが、国の査定の遅れや降雪等により復旧工事が遅れております。3 月議会の繰越明許費補正により完成を目指しているが、進捗について伺う。 (1) 県道喜多方・西会津線の大窪橋復旧工事の完成はいつ頃になるのか伺う。 (2) 市道赤岩・立岩線及び市道川井・塩坪線の災害復旧工事の竣工はいつ頃か伺う。 (3) 農地や農業施設の復旧工事は作付前の完成を目指していたと思うが、目標通りいけたかどうか伺う。また、高郷町西羽賀の只見川から土砂流入の復旧工事は、作付前にはでき上ったのだが、田圃が水平でなかったり、深かったりで作付をあきらめた方がかなりいるようだが、たん水均平の工事はできなかったのか伺う。
7	5	渡 部 一 樹	1 小田付地区まちづくり整備方針について	(1) 事業メニュー、財源、スケジュールについて早急に策定すべきと考えるが見解を伺いたい。 (2) 「東町蔵」の今後の活用方針について見解を伺いたい。
			2 観光行政について	(1) 総合計画基本計画の中間年次見直しに合わせ、市観光戦略行動計画を改善する必要があると考えるが、見解を伺いたい。 (2) 平成 25 年 NHK 大河ドラマ「八重の桜」を活用した取り組みについて伺いたい。
			3 スポーツ交流都市宣言を活かした施策について	同宣言の推進方策にある「スポーツを通じた市内外の交流」に基づくこれまでの施策と今後の考え方について伺いたい。
8	6	江 花 圭 司	1 基幹産業観光交流から波及する持続可能な産業振興と暮らしのうまい向上について	(1) 費用対効果や経済波及効果の数値情報を収集して施策や計画に活かす。 ア 大学との相互友好協力協定の連携協力を活用することは考えているか。 イ 市としての連携協力の方針は持っているか。 ウ 各課への協力協定内容の周知把握はできているか。 エ 事業実施にあたっての各課の連携は図られているか。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(2) 交流産業における費用対効果、経済波及効果の数値を把握し市の戦略として活かす。</p> <p>ア 県や会津地方における統計データを集めることは可能か。</p> <p>イ 福島大と連携しデータ収集や活用できる職員育成ができないか。</p>
			2 成年後見制度の利用実態と課題について	<p>昨今の高齢化の急進展は、認知症高齢者等の増大や判断能力が不十分な独居老人、高齢者夫婦等が増え、虐待、日常的な消費者被害、財産侵害に遭遇しないようにしなければならない。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市における成年後見制度の利用実態はどうなっているか。</p> <p>(2) 本市、市町村長申立てにおける課題について</p> <p>ア 成年後見制度の制度面での課題を伺う。</p> <p>イ 成年後見制度の財政面での課題を伺う。</p> <p>ウ 成年後見制度のその他の課題を伺う。</p>
9	18	物 江 和 一	1 決算審査と行財政運営について	<p>(1) 決算特別委員会の審査意見に対する当局の基本的認識は</p> <p>(2) 審査意見に対しての改善策はどのような目標でどのような手順で進めているか。</p> <p>(3) 1 例として過去 3 ヶ年の不納欠損金及び不用額の推移と改善策は</p> <p>(4) 行財政改革にどのように反映しているか。</p>
			2 広域観光の現状と今後の施策について	<p>(1) 原発事故の風評被害と本市の観光産業の現状と今後の計画は</p> <p>(2) 大河ドラマ「八重の桜」により会津若松市では経済効果が 111 億円と試算しているが、本市に与える波及効果は</p> <p>(3) 会津・米沢地域観光圏整備推進協議会の実績と今後の施策は</p> <p>(4) 広域観光の成果と問題点は。それらの解決策は</p>
			3 生活保護の現状と就労推進について	<p>(1) 本市の生活保護の実態と過去 5 ヶ年の推移は（受給者と金額）</p> <p>(2) 増加傾向にあると思われるが主たる要因は</p> <p>(3) 受給基準と審査方法、親族に対しての援助要請は</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(4) 就労斡旋や自立助長の指導は (5) 不正受給防止のための具体的対策は
10	1	矢 吹 哲 哉	1 原発事故・放射能汚染対策について	(1) 市は重点調査地域の指定を総合的に判断し受けないとしたのはなぜか。判断の根拠を具体的に示して下さい。 (2) 本市の除染活動は、どのように進めるのか。本年度の計画は、市独自の事業はあるのか、示して下さい。 (3) 販売用農産物の検査発表を改善して下さい。出荷時期がきても出荷できずにいる現状をつかんでいますか。 (4) コメは全量(袋)検査になったが、市は、どのように対処するのですか。 (5) 県の給付金の支給が決まったが、国・東電は、賠償を認めていないが、市長はどう考えますか。
			2 国保税の値上げについて	(1) 3年間の経過措置を設けて、3年間連続して値上げする計画というが、なぜ、連続的値上げが必要なのか、示して下さい。 (2) 値上げしない方法はないのか。市は検討し対策をとるべきと考えるが、そのような考えはありますか。 (3) 滞納者への資格証明書の発行、短期保険証の発行は続けるのですか。 (4) 市独自の保険税の減免制度の充実は、考えていますか。 (5) 県の18歳までの医療費無料化に関連して、市が行っている独自の無料化の予算を予防事業などの充実に使うなど検討していますか。
			3 中期財政計画について	(1) ローリング方式で毎年見直すとあるが、なぜ、山都・高郷簡易水道統合事業について22、23年度に見直さなかったのですか。 (2) V-Low 災害情報連携システム構築事業は、今年度の中期財政計画に全体計画を計上すべきと考えるが、いかがですか。 (3) 都市公園整備事業についても中期財政計画に計上し、計画的に整備を進めるべきと考えるが、いかがですか。
			4 水害対策、除雪対策と排水路の整備に関して	(1) 農業用排水路と都市排水路(道路側溝含む)がバラバラに整備され、日常的に大雨の際、床下浸水になる地域があるが、これらの箇所整備計画はありますか。その箇所と対策の方針を具体的に示して下さい。 (2) ホテルやイトヨの再生、復活に市民の方

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>が努力され取り組んでいます、市の清流事業計画と関連し、整備すべきと考えるが、いかがですか。</p> <p>(3) 都市排水路、融雪側溝の整備計画が必要と考えるが、いかがですか。</p>
1 1	1 2	五十嵐三重子	1 高齢者対策について	<p>(1) 孤独死対策の取り組み状況について</p> <p>(2) 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成について</p>
			2 医療費について	<p>(1) 生活習慣病への取り組みについて</p> <p>(2) ジェネリック医薬品の普及促進について</p> <p>(3) 医療費削減のための施策について</p>
			3 墓地公園について	<p>(1) 基金の運用について</p> <p>(2) 増設の考えは</p>
			4 超過勤務について	<p>(1) 時間内に仕事が終われない理由とは</p> <p>(2) 超過勤務の改善策は</p>
1 2	1 0	田 部 輝 雄	1 企業誘致の取り組みについて	<p>(1) ふくしま産業復興企業立地補助金制度への対応について</p> <p>県は平成 24 年 1 月 30 日から 3 月 30 日までの間、第一次募集を行った結果、県内全体で 299 の申請があり、本市からは 7 社が応募した。しかし、県が準備した予算額を大幅に上回る申請件数であり、採択されたのは僅か 167 社で、内喜多方市は 4 社が採択、3 社が保留という結果であった。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 3 社が保留となったことに対し、市の見解を伺う。</p> <p>イ 国から必要な予算が確保されれば、事業採択となり補助金の交付がなされる見込みであるなら、それまでの間、市が事業費の一部を補助して新工場の建設を支援できないか。</p> <p>ウ 採択された企業の増設や新工場の建設場所は、どこになるのか。</p> <p>(2) 喜多方市東日本大震災被災等企業立地支援事業について</p> <p>昨年の大震災以降、本市においては「郡山精器（株）」「モトイ精機（株）」そして「リコーテクノシステムズ（株）」の 3 社が立地し、企業活動をなされています。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア その後、この支援事業を活用してもらう取り組みはどのようになされているか。また、企業からの相談等はありませんか。</p>



通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>んか。</p> <p>イ この支援事業は、期間が 3 年と限られている。今後も市内における企業活動を継続してもらう取り組みは、検討していますか。</p> <p>(3) オン・セミコンダクター・テクノロジー(株)の跡地活用について</p> <p>この間、企業存続を強く求めてきたが、残念ながら当初より 3 ヶ月延長し 9 月には閉鎖となる。課題となっていた跡地活用について、その後、どのような動きになっているか伺う。</p>
			2 地域・家庭医療センターの運営について	<p>市民の皆さんから、大きな期待を受けスタートした同センターは、開設してから間もなく 1 年になろうとしています。しかし、市民からは当初の予定どおり医師の確保も含め外来患者の受け入れ態勢は十分なされているのかと聞かれます。</p> <p>同センターは、基本的に予約制であります。最近「なかなか予約が取れない」という声も聞かれます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 県立医大からの医師の派遣状況は、どのようになっていますか。</p> <p>(2) 外来患者の予約状況はどうなっていますか。</p> <p>(3) 診療報酬は、当初の計画どおり確保されていますか。</p>
1 3	1 4	遠 藤 金 美	1 東大和市との交流事業について	東大和市友好都市協定締結により、具体的にどのような事業が行われるのか伺いたい。
			2 林道について	本市に関係のある林道の現況と維持管理等について伺いたい。
			3 地域課題検討会について	内容・経過・採択等について伺いたい。
1 4	1 3	小 林 時 夫	1 通学路の安全対策について	<p>(1) これまで実施してきた安全対策の検証について</p> <p>(2) 今後の安全対策について</p>
			2 児童館の拡充について	<p>(1) これまで拡充してきた経過について</p> <p>(2) 今後の拡充について</p>
			3 緊急時要援護者登録制度について	<p>(1) これまでの取り組み経過と現在の実態について</p> <p>(2) 今後の登録制度について</p> <p>(3) 救急キット配布について</p>
1 5	3	坂 内 鉄 次	1 道路行政について	<p>(1) 道路整備（特に東西線の）について</p> <p>(2) 根小屋以北の旧 121 号国道の管理につ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				いて (3) 開発行為による住宅地道路と既存道路の結節について (4) 法定外公共用財産（赤道・青道）の利活用について
			2 観光行政について	(1) 喜多方市観光の現状と今後について (2) 喜多方観光協会と会津喜多方物産協会の統合について (3) 「喜多方の蔵」観光の推進について (4) 花とみどりのまちづくり推進について
1 6	2 1	渡 部 勇 一	1 市長の政治姿勢について	(1) 喜多方市の現況（人口・経済・就業等）をどのようにとらえているか。また、中・長期的にどのようになるととらえているのか。 (2) 現況及び中・長期に問題があると考えているならば、その打開策・計画は何か。
1 7	2 5	五十嵐吉也	1 行財政改革について	(1) 山口市長独自の行財政改革についてお示し願いたい。 (2) 職員定数削減及び職員の特殊勤務手当の廃止について (3) 補助金及び負担金の見直しについて (4) 審議会及び委員会の廃止・統合について (5) 公共施設の無料貸付について
			2 喜多方市地域・家庭医療センター「ホット☆きらり」について	ホット☆きらりの運営状況について当初の運営収支見通しどおりに推移しているのか。
1 8	2	田 中 雅 人	1 市長の政治姿勢について	(1) 「社会保障と税の一体改革」についての市長の見解を伺う。 本改革が実行されれば国民の負担増は 20 兆円、1997 年の橋本内閣時の 9 兆円負担増の 2 倍以上となり不景気を助長し、国民にとっては「一体改悪」ではないのか、市長の見解を伺う。 また、市民への影響はどの範囲までに及ぶのか、示せ。 (2) 「消費税の 5 %増税」について市民生活への影響と市長の見解を伺う。
			2 原発事故での市の対応について	(1) 事故以来、市は毎時 1 $\mu$ S v 以下なので安全とアナウンスしてきたが間違いはないのか。国の除染基準毎時 0.23 $\mu$ S v、また文科省の除染基準があればその認識を示せ。 (2) 塩川地区と湯川村との汚染状況についての認識と対応を伺う。たとえば湯川村の

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ような仮置き場、あるいは小規模仮置き場の考え方が有効だと考えるが市の対応を示せ。</p> <p>(3) 復興再生特別措置法を市はどう認識し生かしていくのか、これまでの対外における市長の発言と取り組み、さらに今後の対応を示せ。</p> <p>(4) 県からの給付金の性格は、賠償金扱いなのか、伺う。</p>
			3 新本庁舎建設の計画内容について	<p>(1) 5 市町村の合併から 7 年目を迎えている。新本庁舎計画の規模等とあわせ既存各支所（塩川総合支所、山都総合支所）の今後の在り方が重要となるが、基本的な考え方を伺う。</p> <p>(2) 新本庁舎計画における駐車場の位置づけと庁舎活用の考え方を伺う。</p> <p>(3) 免震構造を採用するとしているが、その効果と費用について伺う。</p>
			4 「住宅リフォーム助成制度」（仮称）の実施について	<p>毎議会提案してきた「住宅リフォーム助成制度」（仮称）だが、近くの西会津町はすでに実施し、北塩原村でも 24 年新年度から実施することになった。</p> <p>本市では経済効果を認めながら依然取り組もうとしないが、その認識と対応を伺う。</p>
19	22	齋 藤 仁 一	1 放射性物質汚染状況重点調査地域の指定について	<p>(1) 市は「放射性物質汚染状況重点調査地域の指定について」、今年の融雪後に調査をして判断していくとの立場であったが、どのような調査を実施し、どういう理由で、「重点調査地域の指定を受けない」と判断したのか伺いたい。</p> <p>(2) 除染基準値毎時 0.23 マイクロシーベルトを超える地域、この数値に近い放射線量の地域住民の方々には、どのような説明をしていくのか具体的な取り組みについて伺いたい。また、市は「線量低減化事業」等での対策を講じる考えであるが、住民任せになるのではないかと伺いたい。</p> <p>(3) 除染基準値毎時 0.23 マイクロシーベルトを超える地域の保育所、幼稚園、学校では、園庭や校庭の土の入れ替え等、市が主体的に除染を実施すべきであると思うが伺いたい。</p>
			2 市民の安全・安心を確保するための検査体制の充実と広報	<p>(1) 今までの市民による持ち込み検査、学校給食調理場の食材検査の結果はどうであったのか。また、その結果公表への対応と</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			について	<p>学校給食食材の基準値についての考えについて伺いたい。</p> <p>(2) 市は、放射性物質検査のための設備及び人的配備を進めているが、検査の現場にいる担当者の技術力の向上、意見交換等の必要性に対して、どう対応するのか伺いたい。</p> <p>(3) 市民への広報手段が出荷・摂取制限の農産物は緊急情報で、そのほかはホームページでの取り扱いとなっているが、品目ごとの検査結果を緊急情報に掲載できないか伺いたい。また、防災無線等での市民への周知では、市民に誤解を与えないような報道をすべきであるが、どう対応するのか伺いたい。</p> <p>(4) 市民からは、土壌、落ち葉、汚泥等々について検査実施の要望があるが、どのように対応するのか伺いたい。</p>
			3 放射性物質に対する農業対策について	<p>(1) 今後、森林からの放射性物質の移動が懸念されている。そこで、特に中山間地にある水田では、放射性物質を除去するための資材（ゼオライト等）による対策が考慮されているが、市はこのことにどう対応するのか伺いたい。</p> <p>(2) 米の放射性物質の検査については、昨年同様 300 箇所を実施する方針であるが、特に、中山間地域の沢田といわれる水田についても調査をすべきであるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(3) 米の全袋検査の方針であるが、J A 以外の販売農家、個人取引農家などへはどう対応することになるのか伺いたい。また、具体的な検査方法と農家の個人負担がどうなるのか伺いたい。</p>
			4 7.30 新潟・福島豪雨災害のその後の対応について	<p>(1) 昨年 7 月 30 日の豪雨災害では、只見川が氾濫し、その流域では甚大な被害が発生した。その原因が只見川滝ダム上流の土砂の堆積であったことを 5 月 22 日電源開発は認め、住民補償を検討するとした新聞報道であったが、市はこのことにどう対応してきたのか伺いたい。</p> <p>(2) このことに関して、只見川流域関係市町村での検討や対策会議は開催されたのか。また、開催されたのであればどのような協議がなされたのか伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 喜多方管内の被災箇所については、今後の水害を考慮し防護壁の嵩上げ等の要望が出されているが、市はどのように対応するのか伺いたい。
20	17	山 口 和 男	1 人事評価と人材育成基本方針を問う	<p>(1) 上記事項の相対的關係をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 4月の人事異動は（人事評価を含む）適正に執行されたか。</p> <p>(3) 職員調書を参考に希望昇任、降任制度を活用し適材適所に努めたとの事だが部長は、課長はそれぞれ部下をどう評価し調整者を経ての市長の最終判断までの経過を示せ。</p> <p>(4) ポストが空いたから昇格させる手法では職員は育たないと考えるがどうか。</p> <p>(5) 総合支所の職員評価はどうなっているか。</p> <p>(6) ジョブ・ローテーションの人事は実施されているか。それによりゼネラリスト、スペシャリストの職員を当市では育成する方針なのか。又、育成されていると認識しているか。</p>
			2 市職員の給与条例と昇格・昇給の規則について	<p>(1) 第5条の3項をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 21条は該当者は何名で、その理由は</p> <p>(3) 25条はどのような手法で行っているか。</p> <p>(4) 26条はランク別に該当した職員数、A～Eまで。4項はどのような事を指すのか。又、これまでそのような例は</p> <p>(5) 昇格者は何名でランク別に問う。定昇できなかった職員は何名で、理由は。又、Dまで昇給できるようになっているが該当者はいるか。</p>
			3 市職員給与について県人勸を尊重している。市独自の削減・抑制措置を考えないについて	<p>(1) きびしいとの認識にたっていないと理解してよいか。</p> <p>(2) 抑制措置、削減なしとは職員を守る＝（イコール）市民の生活向上と合致するのだが、当市はあてはまらないのではないか。</p> <p>(3) バブル崩壊後、給与・所得が上がった民間会社、企業はあるのか。</p>